



# 第73回日本産科婦人科学会学術講演会

## スポンサードセミナー19(SS-19)

### 最新テクノロジーを用いた低侵襲婦人科治療 ～GSM・尿失禁・POP・切らない婦人科形成術～

**日時** 2021年4月25日(日)13:10～14:10

**場所** 第02会場(朱鷺メッセ 2F 中会議室201)

**座長** 明樂 重夫 先生  
(日本医科大学付属病院 女性診療科・産科)

**講演** 「FotonaSmooth®テクノロジー及び  
高強度テスラ磁気刺激療法 "HITS™" を  
使用した最新ウィメンズヘルス治療」

宮内 聡秀 先生  
(大分泌尿器科病院 泌尿器科)

**講演** 「インティマレーザー治療  
～婦人科の未来を明るくする最新治療～」

宮崎 綾子 先生  
(W CLINIC 梅田院 婦人科)

<本セミナーでご紹介されているレーザー装置及び高強度テスラ磁気刺激装置情報サイト>

- ◆Fotona レーザー装置 (Fotona社公式HP) [www.fotona.com](http://www.fotona.com)
- ◆インティマレーザー治療 (公式HP) [www.intimalaser.jp](http://www.intimalaser.jp)
- ◆高強度テスラ磁気刺激装置 (フェイスブック) [www.facebook.com/StarformerIntimawave/](https://www.facebook.com/StarformerIntimawave/)

<最新医療情報・セミナーに関するお問合せ>

TMKメディカル株式会社 <http://tmkmedi.jp>

✉[t-sato@tmkmedi.jp](mailto:t-sato@tmkmedi.jp) (担当:佐藤) Tel.052-253-7707

最新テクノロジーを用いた低侵襲婦人科治療  
～GSM・尿失禁・POP・切らない婦人科形成術～

座長 明樂 重夫 先生（日本医科大学付属病院 女性診療科・産科）

1. 「FotonaSmooth®テクノロジー及び高強度テスラ磁気刺激療法” HITS™” を  
使用した最新ウィメンズヘルス治療」

宮内 聡秀 先生（大分泌尿器科病院 泌尿器科）

当院は、2018年12月よりEr:YAGとNd:YAGの2波長のレーザーを1台に搭載したFotona社のFotonaSmooth® SP Dynamis Proを導入した。特徴としてEr:YAGのSmooth modeと呼ばれるnon ablative modeは組織を“温める”ことで組織の血流改善とコラーゲンや血管新生の再合成が可能とし、Nd:YAGのPIANO modeと呼ばれる秒単位のスーパーロングパルスは熱損傷なしに深部加熱を起こすことが可能である。

泌尿器・婦人科領域では尿失禁や骨盤臓器脱、閉経関連泌尿生殖器症候群、過活動膀胱、さらにはED（勃起不全）、さらにAGA（男性型脱毛症）、皺、たるみ、色素沈着、ニキビ、SAS（睡眠時無呼吸症）など枚挙にいとまがなく、まさにマルチユースレーザーと呼ぶにふさわしい。

さらに本年2月よりStarFormer™ PROを国内初導入した。高強度の磁気刺激HITS™（High Intensity Tesla magnetic Stimulation）デバイスであり、1回の治療は20～25分座るのみである。衣類の着脱は不要で尿失禁、便失禁、産後・術後の骨盤底筋リハビリテーション、骨盤臓器脱、ED、慢性前立腺炎、腰部背痛やフレイル、筋力低下などに有用とされている。ハンドヘルド電磁パルスアプリケーターにより鍛えたい筋肉を選択的に鍛えることも可能である。

本講演では、これらの機種を用いた最新のウィメンズヘルス領域において症例経験を交えて報告する。

宮内 聡秀



2003年 大分医科大学（現大分大学）医学部卒業  
九州大学医学部泌尿器科学教室入局 九州大学医学部付属病院勤務  
2004年 独立行政法人別府医療センター勤務 大分泌尿器科病院非常勤勤務  
2005年 大分泌尿器科病院勤務  
2008年 日本泌尿器科学会専門医取得  
2012年 大分泌尿器科病院副院長 AMS社認定PVPトレーナー取得  
2017年 インテグラル社認定CVPトレーナー取得  
2018年4月 医療法人圭成会 理事長 大分泌尿器科病院 院長  
2020年 EDAP社認定トリウムレーザーマエストロ取得 The Best Doctors in Japan 2020-2021

2. 「インティマレーザー治療～婦人科の未来を明るくする最新治療～」

宮崎 綾子 先生（W CLINIC 梅田院 婦人科）

「美容婦人科」は、女性器の整容性・機能性を向上させるべく、美容手技を婦人科診療に融合させる形で発展してきた。近年、日本でもSNSの拡大により、美容婦人科メニューを取り入れる施設が急増している。当院婦人科において、デリケートゾーンに関する悩みが非常に多いことを実感した。事実、私自身も産後に尿もれを経験した。フォトナスムーズインティマレーザーは、2012年から欧米を中心に認可され、「切らない女性器治療のスタンダード」としての地位を獲得している。外陰部ホワイトニングのような審美的治療から、腔弛緩、尿もれ、GSMに適応がある。女性としてのQOL向上につながり、フレイル・サルコペニアの予防や健康寿命の延長にも寄与する可能性を秘めている。出産後の腔弛緩・尿失禁の治療、および更年期・GSMの治療として、産婦人科医が実践していくことに意義がある。この夢のようなレーザー治療について自験例を交えて報告する。



宮崎 綾子

2005年3月 近畿大学医学部 卒業  
2007年3月 近畿大学医学部附属病院初期臨床研修終了  
2007年4月 近畿大学医学部産婦人科学教室入局  
2012年8月 医療法人ゆうあい会しんやしき産婦人科勤務  
2014年7月 吹田徳洲会病院産婦人科勤務  
2018年1月 医療法人涼葵会Wクリニック婦人科